

希学園 第411回 小5公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第411回公開テスト 小5理科 解説動画(2026年8月2日実施)	https://vimeo.com/1214897138/46e362b73b

1

(1)	イ	(2)	外	(3)	5 枚	(4)	ア	(5)	2 枚
(6)	1200 個	(7)	キク (カタカナ指定)	科	(8)	エ			

2

(1)	①	エ	(2)	②	イ	(3)	12 時 12 分 (24 時制指定)	(4)	④	オ	(5)	⑤	イ	(6)	⑥	ア
(2)	①	う	(2)	②	お	(3)	③	く								

3

(1)	0.12 A	(2)	イ	(3)	ア														
(4)	図 2	60 mA	図 3	240 mA	図 4	80 mA	図 5	100 mA											
(5)	図 6	B	0.5 ($\frac{1}{2}$) (完 答)	C	0.5 ($\frac{1}{2}$)	図 7	B	0.5 ($\frac{1}{2}$) (完 答)	C	$\frac{1}{3}$ (分数指定)									
(5)	図 8	B	0.6 ($\frac{3}{5}$) (完 答)	C	0.4 ($\frac{2}{5}$)	(6)	ウ												

4

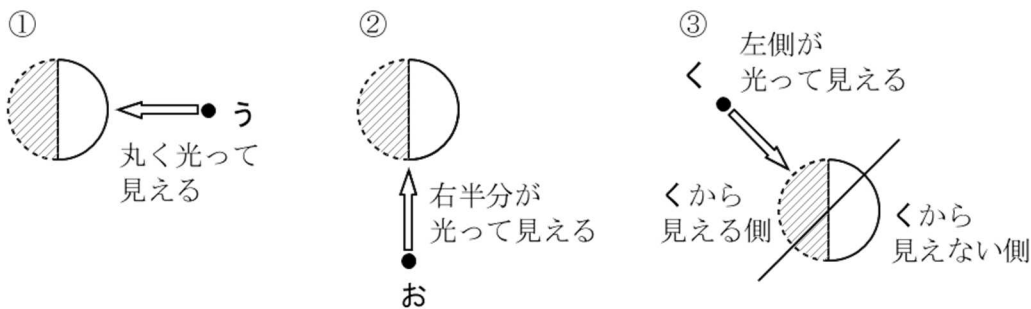
①	ア, ウ (順不同・完答)	②	ア	③	イ	④	イ
⑤	○	⑥	ウ	⑦	ア, イ (順不同・完答)	⑧	イ

1

- (4) ア：ヒマワリ イ：アサガオ ウ：イロハカエデ エ：タンポポ
- (5) ヒマワリは双子葉植物で、子葉が 2 枚出てくる。
- (6) $2000 \text{ 個} \times \left(1 - \frac{1}{5}\right) \times \frac{3}{4} = 1200 \text{ 個}$
- (7) ヒマワリはキク科の植物で、タンポポ、ダリア、コオニタビラコなどがある。
- (8) 紫陽花はアジサイのことで、ア、ウ、オの選択肢の植物は存在しない。

2

- (1) ① 月齢は新月を 0 とした日数で表される。新月から次の新月までが約 29.5 日で、こよみの月は新月の 3 日ほど前の月の形である。
- ② 昼の長さから考える。昼の長さが $18:16 - 6:08 = 12 \text{ 時間 } 8 \text{ 分}$ であることから、春分の日(3 月)か秋分の日(9 月)とわかる。
- ③ $(6:08 + 18:16) \div 2 = 24:24 \div 2 = 12:12$
- ④ ③より、太陽の南中時刻が正午を過ぎていることから、この地点は兵庫県明石市よりも西の地点と考えられる。
- ⑤ 日の出…6:08, 月の出…3:09 より、日の出と月の出には 2 時間 59 分(約 3 時間)の差がある。太陽は 1 時間に約 15 度進むことから、 $15 \text{ 度} \times 3 = 45 \text{ 度}$ が最も近い。
- ⑥ 日の入り…18:16, 月の入り…15:52 より、日の入りと月の入りには 2 時間 24 分の差がある。この差は⑤の差よりも小さい。
- (2) 次のようにして考える。



3

- (1) $1000\text{mA} = 1 \text{ A}$ である。
- (4) 図 1 の電流計に流れる電流の大きさを 1 としたとき、図 2～図 5 の電流計に流れる電流の大きさは次の通り。

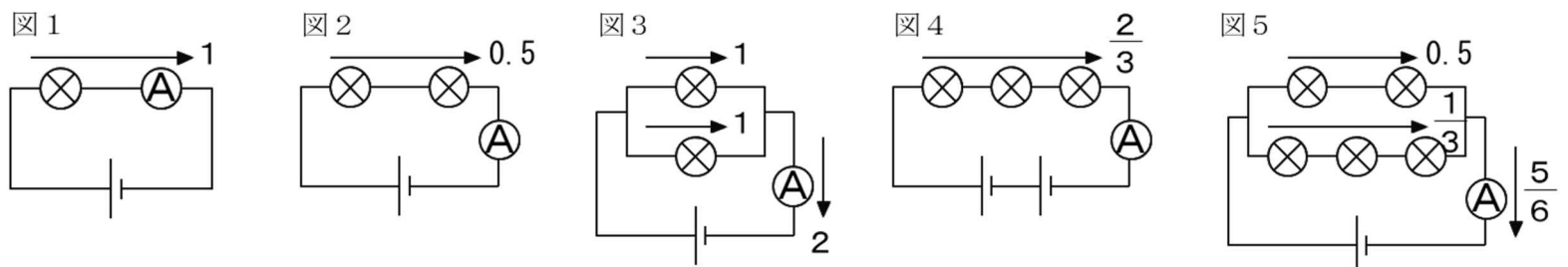


図 2 … $120\text{mA} \times 0.5 = 60\text{mA}$ 図 3 … $120\text{mA} \times 2 = 240\text{mA}$ 図 4 … $120\text{mA} \times \frac{2}{3} = 80\text{mA}$ 図 5 … $120\text{mA} \times \frac{5}{6} = 100\text{mA}$

- (5) 図 6 … A に流れる電流を 1 とすると、B、C にはその半分ずつの電流(0.5)が流れる。
- 図 7 … A に流れる電流を 1 とすると、B には $\frac{1}{2}$ (0.5), C には $\frac{1}{3}$ の電流が流れる。
- 図 8 … B : C = 3 : 2 の電流が流れるとすると、A に流れる電流は $3 + 2 = 5$ になる。
- A に流れる電流を 1 とした場合、B には $3 \div 5 = 0.6$, C には $2 \div 5 = 0.4$ の電流が流れる。

4

- ① アブラゼミの成虫は小さな虫や花のみつは食べない。
- ② モンシロチョウはアブラナ科の植物の葉のうらに卵をうみつける。
- ③ ダンゴムシはこん虫ではない。
- ④ トンボにさなぎの時期はない。
- ⑥ カブトムシの角は相手を押したりするためについている。
- ⑦ アキアカネは赤とんぼとも呼ばれ、暑さに弱く秋になると山から下りてくる。
- ⑧ ゲンゴロウはカブトムシと同じ甲虫のなかまで、さなぎの時期がある。